

FP-RD1



指紋認証リーダー

最初に
ご確認ください。

セ
ット
内
容

指紋認証リーダー本体	1台
接続ケーブル(0.6m)	1本
ソフトウェア(Windows用8cmCD)	1枚
取扱説明書	1部

本製品をご使用になる前に、本書をよくお読みください。
また、お手元に置き、いつでも参照できるようにしておいてください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)を
ご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

もくじ

製品紹介	2	IDパスワード管理	14
警告	2	ID/パスワード管理の設定	14
ユーザーデータファイル	2	ID/パスワード管理の機能	14
システム要件	2	ファイル保護	15
指紋認証リーダー接続	3	ファイルの暗号化	15
指紋登録方法	3	ファイルの復号化	15
インストール方法	4	フォルダの暗号化/復号化	16
アンインストール方法	7	暗号化ファイルの編集	16
はじめに	9	コンピューター保護	17
システム設定	9	ログイン保護	17
指紋管理	9	ロック保護	17
指紋ランチャー	10	スクリーンセーフ保護	18
一般設定	11	アプリケーション保護	19
コンピューター保護管理	11	指紋ランチャー機能	19
ID/パスワード管理	11	保護ファイル検索	20
アプリケーション保護管理	12	タスクトレイ設定	20
バックアップ	13	使用上の注意及びQ&A	21
復元	13		

製品紹介

この度は、指紋認証リーダーをご利用いただき、まことにありがとうございます。近年、コンピュータを使用する機会が増え、また、コンピュータ内に重要データを保存する事が多くなり、セキュリティ上の問題を痛める事も多くなりました。現在、数多くのファイル保護方法がありますが、その中でも、「指紋認証」は、お客様(ユーザー)のファイル及びコンピュータを最もご満足いただける形で保護する方法です。本製品を利用し、「指紋」の特異性や利便性を利用する事で、ユーザー個人データを安全に保護していただけます。

ユーザーの重要データは「指紋」及び指紋により生成された「シークレットキー」によって保護されます。「シークレットキー」は24桁の数字からなるもので、指紋登録完了後、システムが自動的に「シークレットキー」を生成し、ファイルを保護します。「シークレットキー」はユーザーデータフォルダ内を安全に保ち、ユーザーデータフォルダ内で暗号化規制やファイル保護を行います。

警告

テレビラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムでの電源を切ることでご確認ください。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。

テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定してみてください。

テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。

状況に応じ、テレビラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

ユーザーデータファイル

ソフトウェアをインストールし、指紋登録完了後、「ユーザーデータフォルダ」を生成します。ユーザーフォルダには指紋特徴データ、シークレットキー、アプリケーション保護、指紋ランチャー等の設定データが保存されます。

現在のユーザーデータファイルは必ずバックアップしてください。インストールするたびに新しいシークレットキーとユーザーデータファイル(詳しくは「セットアップ方法」を参照して下さい)が生成される為、もし、以前のユーザーデータファイルを復元することができなかった場合、以前暗号化したファイルを復元化できません。復元処理は新しいシークレットキーで行う事はできません。2種類のシークレットキーで保護されている為、復元には2種類のシークレットキーが必要になります。

注意

本ソフトウェアはアカウントパスワードを安全に使用していただき、保護するもので、アカウントパスワードが盗用された時はデータへアクセスする可能性があります。

システム要件

対応機種 Windows搭載パソコン

各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
CPUはPentium 166以上(PentiumIII700以上を推奨)
メモリーの空き容量は64MB以上(128MB以上を推奨)
USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種、CD-ROMドライブが使用できる機種

対応OS WindowsXP・2000

機種により対応できないものもあります。

Microsoft® Windows® XP・2000は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他における登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。本製品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

指紋認証リーダー接続

接続する前に必ずお読みください

本製品をUSBポートに接続する際の注意

本製品はWindowsで自動認識され使用可能となります。本製品が正常に動作しない場合は、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」「設定(S)」「コントロールパネル(C)」「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の項を展開します。USBインターフェイスが正常に動作していれば、下のよう画面が表示されます。

USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、もしくは「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見付からない場合、マザーボードのBIOSのアップグレードや、BIOSの設定をご確認ください。初期状態ではUSBポートの使用が無効に設定されている機種もあります。

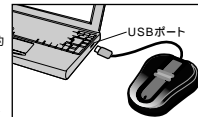


「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のペンギンマーク、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。表示がIntel インテル社)以外の場合もありますので、詳しくは本機(マザーボード)メーカーのサポートにお問い合わせください。

BIOS上でUSBがdisable(デisable=無効)になっている場合

BIOS上のUSBをenable(イネブル=有効)にしてください。BIOS設定画面はコンピュータ起動時にF1かF2を押して表示させるものが多いですが、詳細な方法等については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。本製品のUSBコネクタをコンピュータのUSBポートへ差し込みます。新しいハードウェアを見つけたことを知らせるメッセージが表示され、自動的にインストールが完了します。



本製品を認識しない場合はコンピュータのUSBポートから本製品のUSBコネクタを抜いて、再度差し込みます。そしてマイコンピュータ プロパティシステム デバイスマネージャ USBコントローラの中の「USB大容量記憶装置デバイス」に「！」マークがついていないかどうか確認してください。

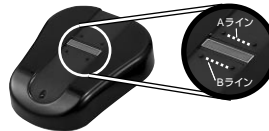
指紋登録方法

本製品はスライド方式の指紋認証デバイスです。

登録手順

指紋認証リーダーのセンサー部上下にそれぞれ2箇所、合計4点の突起があります。上部2点の突起を線で結んだラインをAラインとし、下部をBラインとします。(下画像参照)

指の第一関節部分をAラインに密着させ、センサー部を指で撫でるようにBラインへゆっくりとスライドさせてください。(下画像参照)



指をセンサー上部で3~8回程スライドさせ、最も良い品質の指紋データを指紋認証用データとして登録します。

セットアップ方法

インストール方法

まず、指紋認証リーダーをUSBに接続します。セキュリティ向上の為インストール前のご使用中のコンピュータのパスワードが設定されていることをご確認ください。

付属のCDをCD-ROMに挿入すると、自動的にインストール画面が表示されます。(表示されない場合はCD-ROM内のSETUP.EXEを実行してください。)インストールを続ける場合は[次へ]をクリックしてください。インストールを行わない場合は[キャンセル]をクリックしてください。



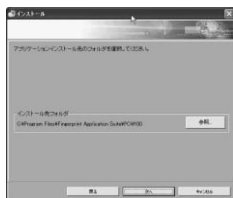
ユーザー名・会社名・シリアルナンバーを入力して[次へ]をクリックしてください。
シリアルナンバーはCDジャケットに記載されている番号になります。



利用授權書が表示されますので、利用授權書を読んでください。利用授權書に同意できインストールを続ける場合は[同意する]をクリックして[次へ]をクリックします。同意できない場合はインストールを終了しますので[キャンセル]をクリックしてください。



インストール先のフォルダを決定します。通常インストールの場合には[次へ]をクリックしてください。(インストール先のフォルダを変更する場合は[参照]をクリックしてインストール先のフォルダを設定してください。設定[次へ]をクリックしてください)



インストール方法の続き

インストールが開始されます。インストールが終了すると初回設定ウィザードが表示されます

[次へ]をクリックして初回設定ウィザードを開始します



注意 ユーザー毎に初回設定ウィザードを実行してください。

初回設定ウィザードには、ユーザーによって以下の a.b.c 3種類の設定があります。

- 初めてお使いの方は、**[新規ユーザーファイルを作成しますか? 全て新規ユーザー]**を選択して[次へ]をクリックしてください。
- 以前ご使用されていた方でバックアップデータを使用する場合は**[以前バックアップしたユーザーデータを使用します。]**バックアップ位置は登録済みです。]を選択して[次へ]をクリックしてください。
- 以前ご使用の方で前回アンインストール時に設定データを削除していない方は、**[以前バックアップしたユーザーデータを使用します。 現在ご使用のアカウントで以前ご使用のものです。]**を選択して[次へ]をクリックしてください。(詳しくは「ユーザーデータフォルダ」及び「アンインストール」を参照してください。)



現在使用しているコンピュータのパスワードを入力し、「パスワードの確認」に再度コンピュータのパスワードを入力してください。(セキュリティ確保の為、コンピュータのパスワードが設定されている事を確認してください。)パスワードが一致しない場合、指紋登録を行うことができません。



マウスのカーソルを指先へ合わせると、選択した指が緑色になります。選択した指と同じ指を使用し、指紋登録を行ってください。10本の指すべてを連続して登録することができます。指紋登録を行っている際は、ユーザー本人の指紋データを使用してください。登録した指紋は本ソフトウェアを使用する時に必要となります。また、「システム設定」から「指紋の再設定/削除/新規設定を行うことができます。(詳しくは「システム設定 P.9」を参照してください)



インストール方法の続き

登録した指紋及びファイルを保護するためにシークレットキーを設定します。
ファイルのバックアップ先を選択します。通常は(C:\Documents and Settings\Administrator\My Documents\My Fingerprint)中に*.datファイルとして保存されます(「ユーザー設定名称」)ので、通常設定でよければ[次へ]をクリックしてください。任意のフォルダへ設定したい場合は[参照]をクリックして、保存先を選択することができます。保存先を選択したら、[次へ]をクリックしてください。



バックアップ成功が表示されたら、[OK]をクリックしてください。

もし、バックアップファイルと同じ名前のファイルが存在している場合は、「*は既に存在します。上書きしますか?」(「は上で設定したシークレットキーファイル」と表示されるので、上書きする場合は[はい]をクリックしてください。



バックアップユーザーデータファイルの用意。再インストールを行う時、バックアップの復元を行う場合は、再度指紋登録をしなくても暗号化されたファイルの操作を行う事ができます



初回設定ウィザードが終了しましたら[終了]をクリックしてください。



インストールが終了しました。コンピュータを再起動することでセットアップが完了します。[今すぐ再起動します。]を選択して[終了]をクリックしてください。

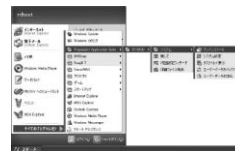


6

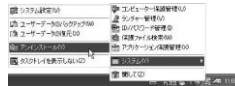
アンインストール方法

アンインストールを行うには、以下の a.b.c 3種類の方法があります。

a. "スタート" > "すべてのプログラム" > "Fingerprint Application Suite" > "PCW100" > "システム" > "アンインストール" をクリックしてください。



b. "スタート" > "すべてのプログラム" > "Fingerprint Application Suite" > "PCW100" > "システム" > "タスクトレイ表示" を実行するとタスクトレイに アイコンが表示されます。タスクトレイでの アイコン をマウスの右ボタンをクリックして "システム" > "アンインストール" をクリックしてください。



c. "コントロールパネル" を開いて "プログラムの追加と削除" を実行し、"PCW 100" を選択し[変更と削除]をクリックしてください。



アンインストール前に本人確認を行います。ユーザー名とパスワードを入力してください。入力後[OK]をクリックしてください。アンインストールを止める場合は[キャンセル]をクリックしてください。



アンインストールが開始されます。[次へ]をクリックしてアンインストール処理を行ってください。



7

[アンインストール実行]と[全ユーザーデータを削除します。]の2種類の選択肢が表示されます。



[アンインストール実行]を選択したソフトウェアのみアンインストールし、ユーザーデータは残します。同じユーザーが再度ソフトウェアを使用する場合に[バックアップデータを使用する]を選択する事で、以前バックアップしておいたデータを使用することができます。(詳しくは「インストール方法P.5 ~」を参照してください)

[全ユーザーデータを削除します。]:ソフトウェア及びユーザーデータを削除します。次回再インストール時にバックアップデータ以外のデータを使用することはできません。全てのユーザーデータをアンインストール:プログラム及びユーザーデータを削除します。再インストール時、現ユーザーのバックアップファイルを復元する事以外に、暗号化ファイルの閲覧・編集を行う事ができません。

注意 アンインストール前、ユーザーバックアップデータを削除します。現在のユーザーデータフォルダをバックアップしてください。バックアップデータが無い場合は、保護ファイルを復号化できません。

アンインストールが始まり、処理方法が表示されます。もし、前処理のアンインストール方法選択時に[全てのデータをアンインストールする]を選択した場合は、アンインストール処理中に本当に削除するかという警告文が現れます。もし、データのバックアップを行っている場合は[はい]をクリックしてください。データのバックアップを行っていない場合、削除されたデータはアンインストール後使用することができません。

アンインストールが終了しました。コンピュータを再起動することでセットアップが完了します。[今すぐ再起動します。]を選択して[終了]をクリックしてください。



使用説明

はじめに



インストールを終了しコンピュータを再起動することでインストールが完了し、指紋認証機能を使用することができます。以下はシステム設定、バックアップ、復元、シークレットキー、ファイル保護、アプリケーション保護、指紋認証ホットキー、ファイル保護検索及びタスクトレイの操作方法を説明します。

注意 もし、あなたがインストールをしたユーザーと同一人物でない場合、初回設定ウィザードを完了して下さい。初回設定ウィザードにて新規指紋登録完了後、各種機能を使用することができます。(インストール方法P.5-6の「~」を参照してください)

システム設定

システム設定について、指紋管理、一般設定、指紋管理、コンピューター保護管理、指紋認証ショートカット、ID/パスワード管理、アプリケーション保護管理機能があります。

システム設定を行うには以下の a.b 2種類の方法があります。

- a) スタート "すべてのプログラム" "Finger Application Suite" "PCW100" "システム" "システム設定" をクリックしてください。
- b) スタート "すべてのプログラム" "Finger Application Suite" "PCW100" "システム" "タスクトレイ表示"を実行するとタスクトレイに  アイコンが表示されます。タスクトレイでの  アイコンをマウスの右ボタンをクリックして、「システム」 "システム設定" をクリックしてください。



指紋管理

指紋管理設定では、新規指紋データ登録や指紋データの削除を行うことができます。

指紋データの登録

マウスのカーソルを青い指先へ合わせると、選択した指が緑色になります。選択した指と同じ指を使用し、指紋登録を行ってください。(詳しくは「指紋登録方法」を参照してください)センサーが指の特徴を認識し、指紋データの登録が10本の指すべてを連続して登録することができます。

指紋登録を行っている時、ユーザーはユーザー個人の指紋データを使用してください。登録した指紋は本ソフトウェアを使用する時にも必要となります。また、「システム設定」から「指紋の再設定/削除/新規設定を行うことができます。



指紋データの削除

マウスのカーソルを削除したい指(指紋データ登録済)上へあわせませう。そして、削除する指をクリックし、削除する場合は[OK]をクリックします。連続で削除することも可能ですが、最低1個の指紋データを残しておいてください。

注意 コンピュータのセキュリティ確保のため、最低1個の指紋データが必要です。




指紋ランチャー

ここでは指紋ランチャーの設定を行います。(指紋ランチャー機能により、あらかじめ登録しておいたファイルやプログラムを起動する際指紋により管理することができます。)

注意 この機能は「お気に入りボタン」付属のマルチメディアキーボードと一緒に使用しないとご利用になれません。また一部のマルチメディアキーボードではご利用になれない場合もあります。

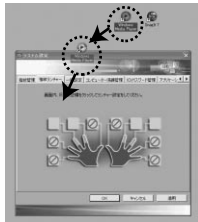
指紋ランチャーの設定

指紋ランチャーの設定前に指紋データの登録を完了してください。指紋データが登録されている場合は登録指紋先にプログラムアイコンが表示されます。(登録されなかった指は  のアイコンが表示されます。)




指紋ランチャーの設定を行う場合には以下の a.b 2種類の方法があります。

- a.ランチャーとして設定するアプリケーション、ファイル、をマウスで空欄へドラッグしてください。空欄に該当アイコンが表示されましたら、設定成功です。
- b.空欄をマウスで右クリックし、新規作成を選択します。ランチャーとして設定するアプリケーション、ファイルを入力後、空欄に該当アイコンが表示されましたら、設定成功です。



指紋ランチャーを削除する


マウスのカーソルを削除したい指に合わせます。カーソルは  のアイコンになります。削除する指をクリックし、削除する場合は[OK]をクリックします



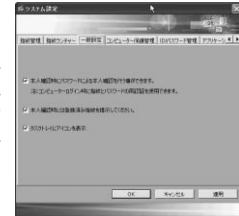
一般設定

一般設定の機能/パスワードによる本人確認、指紋認証時に使用する指紋データ及びタスクトレイについて

一般設定画面で設定できる設定

パスワードによる本人確認:この設定を有効にすると、コンピュータのログイン時に指紋とパスワードの両方で認証を行う事ができます。ただし、ログイン後、指紋認証機能を利用する時には、パスワードは使用できず、指紋のみの本人確認となります。
本人確認時に使用する登録済指紋データ:この設定を有効にすると、本人確認画面上で読み込まれた指紋データが登録されているものであるかどうかを表示することができます。
タスクトレイへの表示:この設定を有効にすると、画面右下のタスクトレイ内へ  アイコン表示されます。

注意 もし、パスワードによる本人確認を選択しなかった場合、本人確認時には指紋認証しかできないため、ログイン時、入力欄は入力不可能になります。



コンピュータ保護管理

コンピュータ保護管理は、ユーザーがコンピュータのそばを離れる時、勝手に使用されないようにする機能です。コンピュータ保護管理機能には 1.ログイン保護 2.ロック保護 3.スクリーンセーバー保護の3種類があります。(詳しくは「コンピュータ保護」(P.17)を参照してください。)

“コンピュータアカウントパスワード”欄内にコンピュータにログインする時に使用するパスワードを入力してください。パスワード入力ミス無くす為に「パスワードの確認」に再度ログインパスワードを入力してください。もし、入力したパスワードとコンピュータログイン時のパスワードが一致しない場合はコンピュータ保護を行うことができません。



ID/パスワード管理

ID / パスワード管理では、IDやパスワードの管理及び編集、ホットキー設定を行う事ができます。ID / パスワード管理ではアプリケーションやウェブページのIDやパスワードを管理する事ができます。(詳しくは「ID / パスワード管理」(P.14)を参照してください)

ID / パスワード管理:パスワード削除、名前の変更及びパスワードの編集を行うことができます。管理項目名の上でマウスを右クリックするとメニューリストが現れます。[削除][名前の変更]内容の中から目的の処理を選択してください。

該当ページでホットキー(Ctrl+Alt+Z)を押すと設定した電子メールアドレスやパスワードが自動で入力されます。(Ctrl+Alt+Zキーボードの組合せは選択変更できます)




アプリケーション保護管理


アプリケーション保護管理を使用すると、他の人に使用されたくないアプリケーションを保護することができます。

まず、保護したいアプリケーションを開きます。
(例:Microsoft、Meida Player)



マウスのカーソルを  アイコンの上に合わせます。



アイコン  をアプリケーション保護設定窓へドラッグします。

マウスを放すとコンピュータからピー音が流れ、保護したいアプリケーションが表示されますので選択して、[OK]をクリックしてください。



アプリケーション保護の解除・削除

ここではアプリケーション保護管理解除、保護設定、保護設定削除を行います。

アプリケーション管理にマウスのカーソルを合わせ右クリックすると以下のメニューが現れます。目的の処理を選択してください。
解除:保護設定を削除します。リストから完全に削除します。
保護設定解除:アプリケーション保護設定を解除します。(この設定はリストの中には残ります)

保護設定:リスト内にある以前解除した保護設定を有効にします。

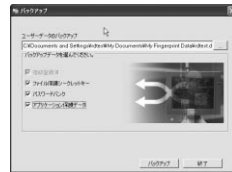


バックアップ

ユーザーが使用しているデータを任意のフォルダへバックアップします。これにより、本ソフトを再インストールした時に、再度指紋認証をせずとも各種機能を使用することができます。

“スタート” “すべてのプログラム” “Finger Application Suite” “PC W100” “システム” “ユーザーデータのバックアップ” を実行します。

バックアップ画面で[参照]をクリックし、バックアップしたい任意のフォルダを指定します。バックアップする内容で、指紋データとその他必要な設定を選択して[バックアップ]をクリックしてください。



復元

以前バックアップしたデータを再度利用することができます。この際、再度指紋認証を行わず、各機能を使用できます。

“スタート” “すべてのプログラム” “Finger Application Suite” “PC W100” “システム” “ユーザーデータの復元” を実行します。

復元画面で[参照]をクリックしてバックアップデータが存在するファイルを選択し、[復元]をクリックしてください。



ID/パスワード管理

ID/パスワードを一括管理し、ウェブ上の様々なサイトやアプリケーションで利用できます。
(以下はウェブページでの例示です)

ID/パスワード管理の設定

ウェブページの本人確認時にメールアドレス(ID)やパスワードを入力しID/パスワード管理で設定したホットキー(既定はCtrl+Alt+Z)を押してください。(詳しくは ID/パスワード管理 P.11を参照してください)



本人確認後に、ユーザーは保存するID/パスワードを選択し[登録]をクリックしてください。(チェックボックスをクリックすることで選択取り消しが可能です)



本人確認表示が現れますので、確認後[OK]をクリックしてください。



注意 一部のサイト・アプリケーションによっては、ご利用できない場合がございますのでご了承ください。

ID/パスワード管理の機能

ID/パスワード管理機能の操作方法を説明します。

マウスのカーソルをパスワード入力欄に合わせたとき、自動的に本人確認表示が現れ、保存されているメールアドレス(ID)やパスワードが自動的に使用されログインできます。



もし、同じサイトで2個以上のID/パスワードデータが存在する場合は、マウスのカーソルをパスワード入力欄に合わせたときパスワードリストが表示されます。そのリストから該当パスワードを選択してログインを行ってください。



14

ファイル保護

ファイル保護機能を使用することで、ファイルの暗号化/復号化、フォルダの暗号化/復号化及び暗号化ファイルの編集を行うことができます。

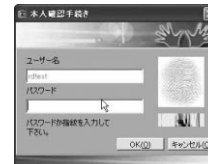
ファイルの暗号化

ファイルを暗号化します。暗号化されたファイルは本人確認無しでは閲覧、編集、削除することができません。

暗号化したいファイルを右クリックして、メニューリストから[ファイルの暗号化]を選択します。



本人確認画面が表示されますので、本人確認後ファイル暗号化設定が完了します。



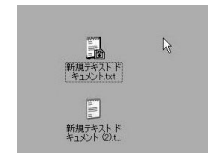
ファイルの復号化

暗号化されたファイルを復号化します。復号化することで、だれでもファイル閲覧、編集、削除をすることができます。

既に暗号化されているファイルを右クリックして、メニューリストから[ファイルの復号化]を選択します。



本人確認画面が表示されますので、本人確認後ファイルの復号化が完了します。

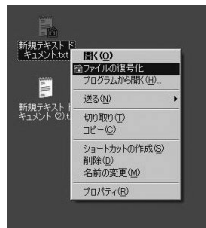


15

フォルダの暗号化/復号化

暗号化されたファイルを復号化します。復号化することで、だれでもファイル閲覧、編集、削除をすることができます。

直接フォルダ内部のファイルを選択して暗号/復号化を行うことができます。また、下層フォルダのファイル暗号/復号化することもできます。



本人確認後、フォルダ内のファイルが表示されるので、ユーザーは暗号/復号化するファイルを選択します。確認後[はじめる]をクリックすると処理が実行されます。



暗号化ファイルの編集

暗号化されたファイルをダブルクリックすると本人確認が始まります。本人確認後ファイルの編集を行うことができます。

コンピュータ保護

コンピュータ保護を使用することで、起動ログイン時、他の人にログインされる事態を防ぎます。コンピュータ保護にはログイン保護、コンピュータロック、スクリーンセーバー保護の3種類があります。

ログイン保護

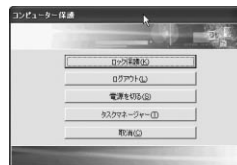
ユーザーが個人のコンピュータを使用する時、必ず本人確認を行うて於いてください。指紋デバイスを使用してユーザー名とパスワードを登録します。これにより、起動ログイン時、本人確認を行うことでログインできるようになります。



ロック保護

ロック保護を使用すると、コンピュータから離れる時、他の人がコンピュータを利用できないようにコンピュータをロックすることができます。

Ctrl+Alt+Delを同時に押すと[コンピュータ保護]が表示されるのでクリックするとコンピュータがロックされ、他の人がコンピュータを使用できないようになります。



引き続きコンピュータを使用したい場合は本人確認を行ってください。ロックが解除されるとコンピュータが使用できます。以下はWindows_で使用される用語です。

ログイン-ユーザーが自身のアカウントを使用します。
シャットダウン-コンピュータの電源を切ります。
タスクマネージャー-現在コンピュータ内で使用されているプログラムの監視と中止処理を行います。
キャンセル-現在の処理を取り消す場合や、処理をやめます。



スクリーンセーバー保護

スクリーンセーバー保護を使用すると、本人確認後ユーザーのコンピュータが勝手に使用されることを防ぎます。

スクリーンセーバー保護の設定

「コントロールパネル」>「画面」>「スクリーンセーバー」を選択します。(デスクトップ上で右クリックして「プロパティ」>「スクリーンセーバー」を選択することもできます)そして、「パスワードによる保護」を選択し、本人確認設定を行います。



スクリーンセーバー保護の機能

スクリーンセーバー保護設定後、キーボードやマウスを動かすと本人確認要求が表示されます。本人確認後、スクリーンセーバー保護が解除され、スクリーンセーバー起動前の状態でコンピュータを使用することができます。



アプリケーション保護

先に、アプリケーション保護設定を完了しておく必要があります。(詳しくは「アプリケーション保護管理P.12」を参照してください。)アプリケーション保護設定がされている時、本人確認後アプリケーションが保護されます。

指紋ランチャー機能

指紋認証にランチャーを設定することで、ファイルやアプリケーション実行を起動することができます。

注意 この機能は「お気に入りボタン」付属のマルチメディアキーボードと一緒に使用しないとご利用になれません。また一部のマルチメディアキーボードではご利用になれない場合もあります。

先に指紋ランチャー設定を行ってください。(詳しくは指紋ランチャーの設定P.10を参照してください)

設定したランチャー(キーボードのお気に入りボタン)を押すと本人確認表示(本人認証手続き画面の右上に指紋ランチャー設定した指が表示します)、読取装置に該当指を讀取らせる事でファイルやアプリケーションを実行することができます。




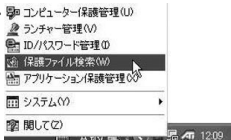
保護ファイル検索

保護ファイル検索を使用すると、コンピュータにある暗号化されたファイルを検索することができます。

保護ファイル検索を使用するには以下の a.b 2種類の方法があります。

a. スタート ” すべてのプログラム ” ” Finger Application Suite ” ” PC W100 ” ” 保護ファイル検索 ” を選択し、保護ファイル検索を実行します。

b. タスクトレイのアイコン  の上で右クリックをし、保護ファイル検索を選択し、保護ファイル検索を実行します。




保護ファイル検索の実行:まず、左側のチェックボックスで検索するハードディスクを選択します。次に[検索]をクリックすると暗号化ファイル検索を実行します。(詳しくは「保護ファイル P.15」を参照してください)



暗号化されたファイルリストが表示されます。削除したい場合は、該当ファイル名を右クリックして[削除]を選択します。
目的のファイルを開く場合はファイル名をクリックしてください。(本人確認が必要です)再度検索を行う場合は、ハードディスクを選択して[検索]をクリックしてください。終了する場合は[終了]をクリックしてください。




タスクトレイ設定

タスクトレイ設定を使用することで右下のタスクトレイに  アイコンを表示・非表示することができます。

以下の a.b.c 3種類の方法で実行することができます。

a. スタート ” すべてのプログラム ” ” Finger Application Suite ” ” PC W100 ” ” システム ” ” タスクトレイ表示 ” から実行します。(表示)

b. タスクトレイのアイコン  の上で右クリックし、システム ” タスクトレイ設定から実行します。(非表示)

c. システム設定の一般設定の中から タスクトレイにアイコン表示 から実行します。(表示・非表示)
もし、タスクトレイに表示しない設定をしている場合、スタート ” すべてのプログラム ” ” Finger Application Suite ” ” PC W100 ” ” システム ” ” タスクトレイに表示 ” から変更することができます。

使用上の注意及びQ&A

1. なぜ、指紋登録に失敗する事があるのでしょうか?

答え:指紋登録時には入力毎に指紋の特徴を読み取ります。これらの指紋特徴は入力毎に算出されるもので、より特徴を読み取る事ができた場合に登録が完了し、安全性が保たれます。

2. 指紋認証により暗号化したファイルが削除される可能性はありますか?

答え:指紋により暗号化されたファイルは保護されているため、その内容は本人確認をしない場合、閲覧・編集・削除することはできません。

3. 暗号化されたファイルが指紋認証で開く事ができないのはなぜでしょうか?

答え:指紋登録時にうまく読み取る事ができなかった場合、もしくは、指紋自体に損傷がある場合、本人確認に影響があります。したがって、登録時2箇所以上の指紋を登録する事で、1本の認識が行えない場合も残りの指紋により本人確認を行われる事をお勧めします。

4. なぜ、拡張子exe.ini.dll(*.exe,*.ini,*.dll)などのファイルが保護されないのですか?

答え:拡張子exe.ini.dll(*.exe,*.ini,*.dll)などのファイルが保護されると、プログラムは正常に動作できません。このような状態を避けるため、当プログラムがそれらの種類のファイルに対する保護機能が制限されます。それらの種類のファイルを保護する場合、アプリケーション保護機能を行うことをお勧めします。

注意 本製品使用時において、不正な使用に依る情報の漏洩、データの改ざんなどの損害については、責任を負いかねますので、注意してご使用ください。